



第34期 2021年7月～2022年6月

「強い義務感を持とう / 義務は全ての権利に伴う」

富士ワイズメンズクラブは 社会を明るくする運動富士市推進委員会の加盟団体です

国際会長主題	キム・サンチェ	世界とともにワイズメン
アジア太平洋地域会長主題	大野 勉	100年を超えて変革しよう
東日本区理事主題	大久保知宏	私たちは次の世代のために何ができるのか？
富士山部部長主題	小原進一	ワイズリニューアル
富士クラブ会長主題	小澤嘉道	何事も、楽しんでいきましょう



富士ワイズメンズクラブ

9月強調テーマ

2021年

EMC

9月会報

新クラブ設立、会員増強と意識高揚。

☆2021年9月例会☆

静岡県に緊急事態宣言が発令されたため

中止となりました

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう
2. 青少年のためにYMCAにつくそう
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう
4. 義務をはたしてこそ、権利が生ずることをさたろう
5. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

9月 Happy Birthday

該当者はいません

7月例会報告

在籍会員	13名	例会出席者	10名	スマイル基金	14,000円	CS基金	996円
功労会員	名	出席率	77%	スマイル累計	14,000円	CS累計	996円
担当主事	1名	ゲスト	1名	ビジター	3名	総出席者	14名

第34期富士クラブ

会 長	小澤 嘉道
副会長	菊池 初彦
直前会長	高野 亨
監 事	仲澤 昭夫
監 事	吉澤 廣美
書 記	高野 亨
会 計	鈴木 靖巳
担当主事	金井 淳
ドライバー委員長	吉澤 廣美
親睦委員長	岩辺 富雄
BF.EF.IBC.DBC 委員長	岩辺 富雄
ユース委員長	増田 隆
CS 委員長	菊池 初彦
ブリテン委員長	増田 隆
EMC 委員長	市川 文彦
物品管理委員長	次田 升勇
特別文献委員長	漆畑 義彦
静岡 YMCA 委員	井上 暉英
東日本区監事	漆畑 義彦

巻頭言

高野 亨

第34期も7月にキックオフ例会を行い、今期はできるだけ例会を毎月開きましょう。と、スタートしましたが、早速、新型コロナウイルスの爆発的な感染によって、頓挫してしまいました。悔しさ、無念さ、脱力感、なんて表現していいのか？モチベーションが上がりにません。少し前まではワクチン接種を国民の6割~7割が完了すれば、コロナも終息して落ち着くだろうという考えは間違ってたようです、すでに5割に達しているようですが、爆発的にひろがってます。緊急事態宣言が発出されても減少しません。

緊急事態宣言とは不要不急の外出の自粛、酒類を提供する飲食店の休業要請、それ以外の飲食店は夜8時まで、イベントは収容率50%以下で5000人までとなっていますが、皆が緊急事態宣言に慣れてしまって、各個人の自粛が緩んでしまっていると思います。

新型コロナウイルスと向き合ってから、3密やソーシャルディスタンスなど今までに無い言葉が良く使われました。最近ではセルフロックダウンという個人単位でのロックダウンの推奨などです。私は、要は行動の見極めが大事だと思います。今、行おうとしている行動が不要不急の行動なのか？必要不可欠な行動なのか？必要不可欠の行動ならば、しっかりと自分で感染防止対策をとって行うことが重要です。只々、コロナを恐れて亀が首を竦める様に自粛、自粛のロックダウンでは何もできません。現状の流れが国民には緊急事態で自粛要請をして、甲子園大会やオリンピックは感染防止対策をして実施されています。

この様に不要不急の行動なのか、必要不可欠な行動なのか、見極めて行きましょう。

オクラの花

近所の庭にオクラの花が咲いていたので思わず「パチリ」……。オクラの名前の由来は[okura]、オクラは実は英語です。オクラの花言葉は「恋によって身が細る」...指のように細い実の様子から？実際は真逆で、日に日に大きくなっていきます。オクラ独特のネバネバはムチンというタンパク質で整腸作用や胃の粘膜の保護作用があります。夏バテで弱りがちな胃腸の調子を整えてくれる作用があり、旬の野菜として夏に食べるのは理にかなっているのですね。



今回はCS事業委員会が計画している海岸清掃作業、について、本年度静岡県が、静岡県海洋プラスチックごみ防止「6R県民運動」を展開しているのでその運動の内容を県のホームページから調べてみました。この運動の背景は

(1) 何が問題となっているのか

プラスチックは、飲物のペットボトルや食べ物の容器、包装などに使われている私たちの暮らしを便利にする材料である。日本ではプラスチックごみはリサイクルされたり、燃やされたり埋め立てられたり、地域ごとに処理する方法が決められている。しかし、ルールが守られずにそのまま捨てられたり、ルールを守っていてもきちん回収されなかったりしている。そのごみは雨、風によって排水溝や川に落ちて海へ流れ着き、そして海洋プラスチックごみになる。

(2) 分解されにくいプラスチックの性質

家庭で、長い間使っていたプラスチック製の洗濯バサミや、バケツ、カバーなどが、砕けてぼろぼろになっているのを見かける事がある。海洋プラスチックごみも、同じように、波の力や太陽の光の影響でぼろぼろになる。しかし、有機物が微生物に分解されてなくなるのとは全く異なり、プラスチックは小さなかけらとなって自然分解がしにくく、長期間にわたり海に存在する。また、細くなるほど回収困難になってしまうため、早期に回収する必要がある。

(3) 動物や人間への影響

プラスチックごみが海の生き物の体にかまったり、えさと間違えて食べられたりして傷つけたり、命を奪ってしまうことも問題となっている。また魚の体内や貝からもプラスチックが見つかるが、食物連鎖でプラスチックを食べた魚や、貝を人が知らずに食べることもなる。プラスチックは体外へ排出されていくと考えられ、今のところ人の健康への影響は報告されていないがプラスチックには有害物質を吸着する性質があることから懸念する声もある。

「6R県民運動」の6Rとは……。

- Reduce (リデュース) : 減らす
- Reuse (リユース) : 繰り返し使う
- Recycle (リサイクル) : 資源として再び利用する
- Refuse (リフューズ) : 断る
- Return (リターン) : 戻す
- Recover (リカバー) : 回復させる

ごみの削減に必要な従来の3Rに、プラスチックごみの発生抑制や、海洋流防止のために新たな3つのRを加えました。

富士クラブが計画している活動は6Rの中のリカバー(回復させる)で、企業の従業員や団体の会員に、地域で開催される海岸、河川、道路等での清掃活動への参加を呼び掛ける。また、プラスチックごみの流出防止のための、企業、団体等の独自の清掃活動を実施する。(静岡県ホームページより抜粋)

岩辺 富雄

日本でのオリンピックは、(皆様も同じでしょうが)私が高校一年生の時に第18回、今回第32回大会を合わせると、人生のうち2回のオリンピックを経験するのは幸運ではないかと思えます。前回の時は(約50年前)国を挙げて、聖火の日本縦断等のお祭りの一端として行われ。私もその時通っていた学校の前で、丁度聖火の引継ぎ式が行われ、全校生徒が感動して見ていた事が思い出されます。色んな競技が行われ中女子バレーボールの鬼の監督として話題になった大松監督の事、決勝での最終得点の事をオリンピックポイント称され、アナウンサーが叫んでいた事が思い出されます。丁度私もバレーボール部に所属していて帰宅時間がPM9:00頃で、少々きつい練習だったことを思い出しました。それに引き換え、今回のオリンピックは一年延長されコロナの中で開催され、組織委員長の女性発言により辞任する出来事、医療関係者の間では普通パンデミックの最中では開催されませんとの意見が強かったです。しかし、大会は実行され開会式から競技会場の殆どが無観客で行われたこと等、異例づくめで行われた大会でした。

このコロナが終息し落ち着き、世界が平成に戻ったとき日本ではあの様な時にオリンピックを実行できた事に。改めて世界で日本の存在が信頼感・誠実・実行力の有る素晴らしい国である事が再認識される事に成るのではなかとと思えます。これからこの様な素敵な国へ世界の人々が一人でも多く来日してくれる事を願います。(今度は中国人だけでなく全世界の人が来て下さるように)



マイタイムで熱弁する岩辺ワイズ

2021—2022年度 国際会長ニュース 9月号より**キム国際会長のメッセージ (抜粋)**

皆さん、こんにちは、新型コロナウイルスの沈静化を期待していましたが、ほとんどの地域で再燃しています。私たちの対面の活動は、引き続き制限されています。しかし、新しい技術と揺るぎない献身的な精神を持って、私たちは、私たちの運動に貢献していきます。皆さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

理事メッセージ**東日本区理事 大久保知宏**

新年度が始まり2か月が経過いたしました。新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言、まん延防止措置が各地に出され、皆さんの生活が大きく影響を受ける日々が続いています。この影響はワイズメンズクラブの活動、サポートする各地のYMCAの活動にも大きな影響を与えています。こうした環境下においても、LT委員会では、6月の区大会で開催できなかったヤングセミナーを「カフェ・ド・フレッシュワイズ」と生まれ変わらせてZoomで開催し、21名の参加がされました。また、川越クラブでは8月の強調項目であるIBC事業として、オレゴン州セイラムのクラブとのIBC例会がZoomにて行なわれました。川越市とセイラム市では、距離で7,793キロ、時差で8時間ありますが、その間隔を超えての交流が行われました。同時通訳のできる利根川さん、Zoom通訳機能、それぞれにインターネット接続環境あるという条件が重なっての実現ではありますが、コロナがもたらした新しい形での交流事業ということが出来ます。コロナ以前にもどることを強く祈っているもののその影響は長期間にわたるものと思われまます。Withコロナという言葉は好きではありませんが、Noコロナが難しいと思う状況で私たちにできる事を模索していくことが大事だと思います。9月11・12日には、初めての試みとしてユース・ボランティアリーダーズ・フォーラムがZoomで開催されます。また、東新部、関東東部、あずさ部の部大会がZoomで開催されます。実行委員会は最後まで対面でやることを検討したものの、まさに苦渋の決断でZoomでの開催を選択された事と思えます。ぜひ、数多くの皆さんのそれぞれのイベントにご参加いただき、実行委員会の工夫のほどをご覧いただければと思います。私たちはクラブの内側に発生しているコロナの影響だけではなく、クラブの外側の地域社会やYMCAに与えている影響にも目を向けて、コミュニケーションを通じて、絆を深め、課題を共有していくことが求められていると思えます。

東日本区 Change!2022 ニュース No.26より

『ワイズ国際協会 EMC100日キャンペーン』に呼応し、東日本区では、会員増強強調クォーターとして2021年9月1日～11月30日の期間を設定し、集中的に会員増強活動を推進する。その会員増強活動の一環としてワイズ・ナイトフォーラムを開催する。

入会候補者向けにワイズの魅力を紹介するフォーラム。Zoomで月1回開催**ワイズ・ナイトフォーラム開催のお知らせ**

- | | |
|-----|-----------------------|
| 第1回 | 9月19日(日) 20:00~22:00 |
| 卓話者 | 藤田 智さん(東京多摩みなみ) |
| 第2回 | 10月24日(日) 20:00~22:00 |
| 卓話者 | 利根川恵子さん(川越クラブ) |
| 第3回 | 11月21日(日) 20:00~22:00 |
| 卓話者 | 西村隆夫さん(チェンマイクラブ) |

富士クラブ設立当時のワイズ精神を顧みることに
より、これからの富士クラブの在り方を模索できれば、
との思いで懐かしい写真を引っ張り出してみました。
(写真をルーペで見てください。懐かしい顔が・・・)



- 34 -

1988年5月25日 富士クラブの設立総会です。今は
亡き樫村好夫初代会長の標語、「今集い 新しいいぶ
き富士のふもとで」は今でも心に響きます。



- 25 -

1989年10月15日 設立間もない富士クラブが富士市
福祉まつりに多くのメン、メネットが参加しました。



2007年8月10日 タイ バンコクでのアジア大会に
参加した富士クラブと東日本区のメンバー。

(次号に続く)

9月1日は「防災の日」でした。98年前の関東大震災
の被災者を思うとともに、改めて災害への備えを意
識する日となりました。横浜 YMCA は、関東大震災では
会館が被災しましたが、倒壊はしなかった会館を拠点
に、様々な救護活動を行ったという記録が残っていま
す。また、現在も富士山 YMCA で行っている横浜 YMCA
の「教育的組織キャンプ」の始まりは、被災児童を対
象とした保養キャンプでした。98年前の思いが今もつ
ながっています。



98年前の関東大震災で救護テントを使い、辻堂にキャ
ンプ村を開設しました。貴重な写真です。



サマーキャンプ本部 2.JPG

熱海・伊豆山地区土砂災害に伴う活動支援金について

7月3日に発生した土砂災害につきまして、東日本
区では、光永 YMCA 東西日本区主事を通して YMCA・ワ
イズの連携を図り、一体となって支援活動を行うべく
情報収集を行ってまいりました。詳細は「【2021年大
雨災害：005】熱海・伊豆山地区土砂災害関連情報」
[yscom.8045]をご覧ください。つきましては、YMCAに
よる「被災地支援プログラム」のために、皆さまのご
協力をお願いします。

東日本区理事 大久保知宏